

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

5-II-11

5-II
-11

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	空き家や耕作放棄地の活用
	節	II. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	11	耕作放棄地等の再生・活用	事業主体	佐渡市農業政策課
事業実施期間	H28～R4		関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡市観光振興課
事業概要	<p>【事業目的】 ○耕作放棄地等を再生・活用することにより、地域振興及び交流人口の拡大を図る。</p> <p>【事業内容】 ○農作業、収穫体験等、グリーンツーリズムを活用した交流事業の実施や、棚田や果樹等のオーナー制度の拡充を図る。</p>			
30 事業計画と実績	<p>【30年度計画】 ●前年度に引き続き、オーナー田以外の耕作放棄地を解消するため、景観保全のモデル事業を実施する。</p> <p>【30年度実績】 ●小倉千枚田の特定農地貸付規程の改正を行った。 ●景観保全のモデル事業として、地元の高校生による小豆等の作付けを行った。</p>			
課題・今後の取組	<p>【課題】 ■オーナーへの特典やイベント内容の充実など、受け入れる側の意識の啓発が引き続き必要であるとともに、オーナー制度の持続性を高める体制づくりが急務となっている。</p> <p>【今後の取組】 ■小倉千枚田オーナー制度の持続可能性を高めるため、地元管理組合の適切な収益を確保し、事業継続を高めていく。 さらに佐渡棚田協議会が積極的に関わり、オーナー田周辺の耕作放棄地を活用し、交流促進を図る。</p>			
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a <input checked="" type="radio"/> b <input type="radio"/> c]</p> <p>◇小倉千枚田オーナー制度を持続させていくため、地元組合との意見交換を行うことにより、課題を洗い出す事はできたが、それを今後の計画にどのように反映させていくか検討していくことが急務である。</p> <p>【事業実施の効果】 [a <input checked="" type="radio"/> b <input type="radio"/> c]</p> <p>また、佐渡棚田協議会が積極的に関わって行けるような体制づくりも必要である。</p> <p>【総合評価】 [A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C]</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。